

平成23年度

機構図及び事務分掌

道路局

道路局

局長(技)友田勝己 (2740)

副局長(事)橋田徹 (2741)

総務部

部長<副局長兼務>

総務課

課長(事)井上幸一 (2742)

<危機管理推進担当兼務>
担当課長(事)野坂高志 (調整担当、2894)

庶務係

係長(事)中山昭
担当係長(事)福涉一 (調整担当)

- 1 局内の文書
- 2 局内の事務事業の連絡調整
- 3 道路に関する諸団体との連絡調整
- 4 局事業の啓もう
- 5 局の危機管理
- 6 他の部、課、係の主管に属しないこと

職員係

係長(事)黒川正人
担当係長(技)馬場明希

- 1 局内の人事
- 2 職員の勤務条件及び給与
- 3 職員の福利厚生
- 4 職員の衛生管理
- 5 職員の研修計画及び実施(他の課の主管に属するものを除く。)
- 6 その他労務

経理係

係長(事)橋本幹雄

- 1 局内の予算及び決算
- 2 局内の予算執行の調整
- 3 公共土木事業の連絡調整
- 4 局内の諸契約
- 5 局内の物品及び資材の納納保管

計画調整部

部長(技)小山孝篤 (2745)

企画課

課長(技)秋山禎治 (2746)

担当課長(技)新保康裕 (都市計画道路担当、2937)
担当課長(技)山田耕作 (都市計画道路担当、4307)
担当課長(技)橋本孝二 (交通計画担当、2755)
担当課長(技)清水裕之 (交通計画担当、4305)
担当課長(技)曾我幸治 (鉄道交差調整担当、2757)

担当係長(事)山下隆幸

【主担任:調整業務】

担当係長(技)桐山大介

【主担任:街路業務】

担当係長(技)角野智史

【主担任:道路業務】

担当係長(技)酒井博之

【主担任:企画業務】

担当係長(事)中村昭夫 (資産活用推進担当)

担当係長(事)駒形俊文

担当係長(技)西岡毅

担当係長(技)栗本高史 (都市計画道路担当)

担当係長(技)山本和弘

担当係長(技)岡哲郎

担当係長(技)森田善文 (交通計画担当)

担当係長(技)菊地伸之 (鉄道交差調整担当)

- 1 道路事業(土地区画整理事業に係るものを除く。)の企画及び基本計画の策定並びに実施計画の調整
- 2 道路事業(土地区画整理事業に係るものを除く。)の執行調整及び国庫補助申請等
- 3 都市計画道路の計画

技術監理課

課長(技)中島卓朗 (2754)

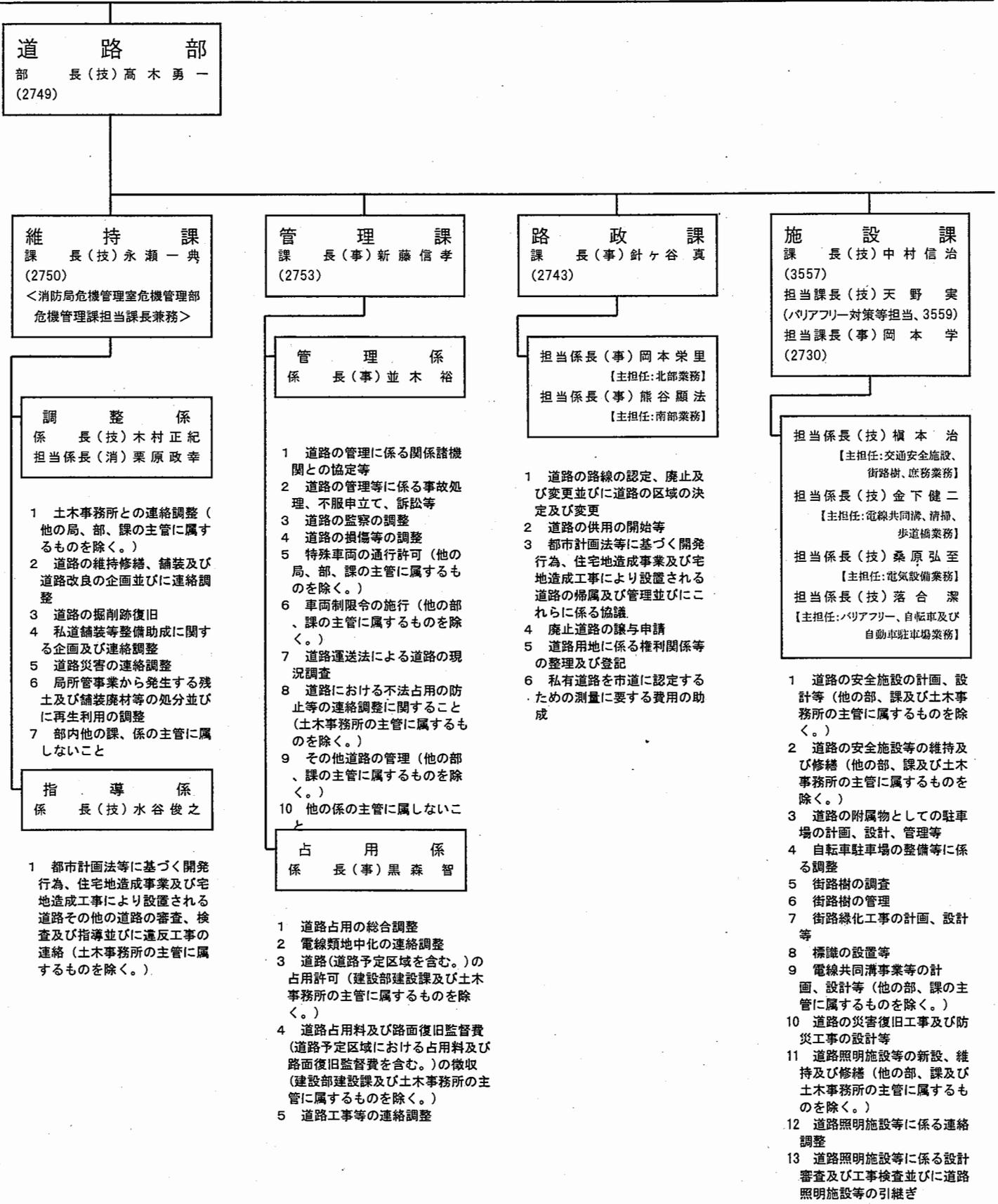
担当係長(技)川名秀

【主担任:技術監理業務】

担当係長(技)渡辺吉清

【主担任:検査業務】

- 1 土木工事に関する技術基準等の作成並びに指導及び研修(他の局、部の主管に属するものを除く。)
- 2 土木工事に係る設計単価、歩掛り等の作成及び調整
- 3 局所管の請負工事(道路の附属物としての照明施設等及び道路用エレベーター等(以下「道路照明施設等」という。)に係る工事並びに河川施設の機械、電気及び建築工事を除く。)の検査及び局所管の請負工事等の安全管理等
- 4 局所管の国庫補助事業に係る会計実地検査の連絡調整
- 5 その他技術監理
- 4 都市計画道路の事業認可に係る原案の調整
- 5 駅前広場の計画
- 6 菊名駅自由通路改良事業及び京急蒲田駅総合改善事業に関する事
- 7 道路改良事業を伴う交通結節点の実施計画、整備及び調整に関する事
- 8 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進のためのバリアフリー基本構想等
- 9 バス交通等の交通施策調整
- 10 地域交通サービスに係る事務
- 11 道路事業に係る総合調整
- 12 局所管の国直轄事業に係る国等との連絡調整
- 13 都市計画道路用地の先行取得の調整
- 14 財団法人横浜市道路建設事業団
- 15 踏切道改良事業の調整
- 16 道路と鉄道との立体交差事業の計画及び調整
- 17 鉄道建設に伴う道路に係る調整
- 18 鉄道立体化事業
- 19 横浜新都市交通株式会社
- 20 局の事務事業の広報等の企画、調整及び実施に関する事
- 21 部内他の課の主管に属しないこと



道 路 部
部 長(技)高木 勇 一
(2749)

維 持 課
課 長(技)永瀬 一 典
(2750)
<消防局危機管理室危機管理部
危機管理課担当課長兼務>

調 整 係
係 長(技)木村正紀
担当係長(消)栗原政幸

- 1 土木事務所との連絡調整 (他の局、部、課の主管に属するものを除く。)
- 2 道路の維持修繕、舗装及び道路改良の企画並びに連絡調整
- 3 道路の掘削跡復旧
- 4 私道舗装等整備助成に関する企画及び連絡調整
- 5 道路災害の連絡調整
- 6 局所管事業から発生する残土及び舗装廃材等の処分並びに再生利用の調整
- 7 部内他の課、係の主管に属しないこと

指 導 係
係 長(技)水谷 俊 之

- 1 都市計画法等に基づく開発行為、住宅地造成事業及び宅地造成工事により設置される道路その他の道路の審査、検査及び指導並びに違反工事の連絡 (土木事務所の主管に属するものを除く。)

管 理 課
課 長(事)新藤 信 孝
(2753)

管 理 係
係 長(事)並 木 裕

- 1 道路の管理に係る関係諸機関との協定等
- 2 道路の管理等に係る事故処理、不服申立て、訴訟等
- 3 道路の監察の調整
- 4 道路の損傷等の調整
- 5 特殊車両の通行許可 (他の局、部、課の主管に属するものを除く。)
- 6 車両制限令の施行 (他の部、課の主管に属するものを除く。)
- 7 道路運送法による道路の現況調査
- 8 道路における不法占用の防止等の連絡調整に関すること (土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 9 その他道路の管理 (他の部、課の主管に属するものを除く。)
- 10 他の係の主管に属しないこと

占 用 係
係 長(事)黒 森 智

- 1 道路占用の総合調整
- 2 電線類地中化の連絡調整
- 3 道路(道路予定区域を含む。)の占用許可 (建設部建設課及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 4 道路占用料及び路面復旧監督費 (道路予定区域における占用料及び路面復旧監督費を含む。)の徴収 (建設部建設課及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 5 道路工事等の連絡調整

路 政 課
課 長(事)針ヶ谷 真
(2743)

担当係長(事)岡本 栄 里
【主担任:北部業務】
担当係長(事)熊谷 顯 法
【主担任:南部業務】

- 1 道路の路線の認定、廃止及び変更並びに道路の区域の決定及び変更
- 2 道路の供用の開始等
- 3 都市計画法等に基づく開発行為、住宅地造成事業及び宅地造成工事により設置される道路の附属及び管理並びにこれらに係る協議
- 4 廃止道路の譲与申請
- 5 道路用地に係る権利関係等の整理及び登記
- 6 私有道路を市道に認定するための測量に要する費用の助成

施 設 課
課 長(技)中村 信 治
(3557)

担当課長(技)天野 実
(バリアフリー対策等担当、3559)
担当課長(事)岡本 学
(2730)

担当係長(技)横本 治
【主担任:交通安全施設、
街路樹、庶務業務】
担当係長(技)金下 健 二
【主担任:電線共同溝、清掃、
歩道橋業務】
担当係長(技)桑原 弘 至
【主担任:電気設備業務】
担当係長(技)落合 深
【主担任:バリアフリー、自転車及び
自動車駐車場業務】

- 1 道路の安全施設の計画、設計等 (他の部、課及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 2 道路の安全施設等の維持及び修繕 (他の部、課及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 3 道路の附属物としての駐車場の計画、設計、管理等
- 4 自転車駐車場の整備等に係る調整
- 5 街路樹の調査
- 6 街路樹の管理
- 7 街路緑化工事の計画、設計等
- 8 標識の設置等
- 9 電線共同溝事業等の計画、設計等 (他の部、課の主管に属するものを除く。)
- 10 道路の災害復旧工事及び防災工事の設計等
- 11 道路照明施設等の新設、維持及び修繕 (他の部、課及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 12 道路照明施設等に係る連絡調整
- 13 道路照明施設等に係る設計審査及び工事検査並びに道路照明施設等の引継ぎ

横浜環状道路担当理事
(技)藤田格
(3638)

建設部
部長(技)新倉芳樹
(3960)

横浜環状道路
調整部
部長(技)池本裕生
(2889)

道路調査課
課長(技)中村均
(2744)

建設課
課長(技)松尾寛
(2747)
担当課長(技)市蘭政幸
(建設担当、2798)
担当課長(事)有野秀文
(用地担当、2734)
担当課長(事)武正義
(用地担当、2787)
担当課長(事)吉田壽男
(用地活用推進担当、3497)

橋梁課
課長(技)乾晋
(2752)

事業調整課
課長(技)葛西隆
(3985)
担当課長(技)石丸潔
(横浜環状道路担当、2758)
担当課長(技)濱田禎
(横浜環状道路担当、2799)

調査係
係長(事)酒井茂則

担当係長(技)西嶋祐一
担当係長(技)宮腰恒秀
担当係長(技)青木隆浩
【主担任:維持管理業務】

担当係長(技)谷津毅
担当係長(技)石井高幸
【主担任:南線業務】
担当係長(技)加藤日出美
担当係長(技)樽川正弘
【主担任:北線業務】
担当係長(技)井深美江
担当係長(技)故島哲朗
【主担任:北西線業務】

- 1 道路等と民地との境界調査に係る調整(土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 2 市境における道路等と民地との境界の調査
- 3 市境における境界調査図の謄本の交付及び道路等と民地との境界の承認
- 4 道路台帳図等の謄本の交付及び境界の承認
- 5 局に属する財産の管理及び調整(他の部、課の主管に属するものを除く。)
- 6 道路に関する資料の収集、調査及び統計
- 7 道路台帳の閲覧
- 8 他の係の主管に属しないこと

道路台帳係
係長(技)中里克己

- 1 道路台帳の整備及び閲覧
- 2 公共基準点
- 3 局主管事務事業に係る測量の技術的指導及び調整

担当係長(技)森高次
担当係長(技)櫻井暁人
担当係長(技)木村修平
【主担任:北部建設業務】
担当係長(技)安達秀昭
担当係長(技)五十嵐中也
担当係長(技)藤江千瑞
【主担任:南部建設業務】
担当係長(事)鈴木勝
【主担任:庶務・経理業務】
担当係長(事)国本貴志
担当係長(事)仁井田尊史
担当係長(事)羽田雅行
担当係長(事)柴原茂樹
担当係長(事)中村治之
担当係長(事)間宮信一
(用地担当)
【主担任:北部用地業務】
担当係長(事)皆川宗治
担当係長(事)原康夫
担当係長(事)山田勇
担当係長(事)山口正信
(用地担当)
【主担任:南部用地業務】
担当係長(事)富田雅信
担当係長(事)中里浩一郎
(用地活用推進担当)
【主担任:用地収用等業務】

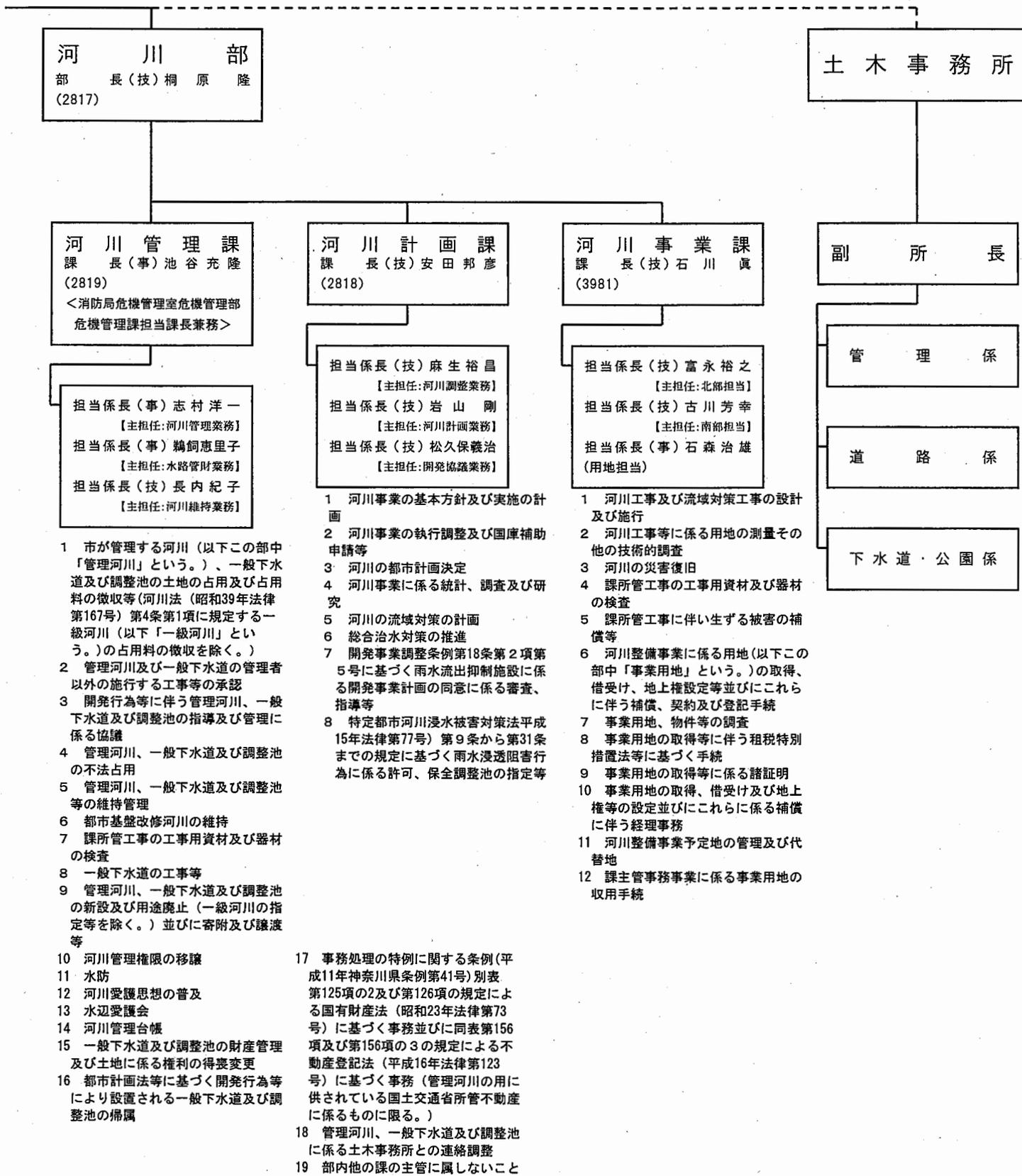
- 1 道路整備事業(橋りょう等を含む。以下この部中同じ。)に係る関係諸機関との調整、協定等(他の課の主管に属するものを除く。)

- 1 橋りょう(地下道等を含む。以下この部中同じ。)の調査、設計等(他の部、課及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 2 橋りょうの維持及び修繕(他の部、課及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 3 橋りょうの耐震対策
- 4 橋りょう台帳
- 5 橋りょうの荷重制限及び特殊車両の通行に係る審査
- 6 道路管理者以外の者が行う橋りょう工事の設計審査及び橋りょうの引継ぎ
- 7 道路管理者以外の者が行う橋りょう添架工事等の審査
- 2 道路整備事業に関する調査、設計等
- 3 道路整備事業予定地の管理及び代替地
- 4 道路予定区域の占用(道路部管理課及び土木事務所の主管に属するものを除く。)
- 5 道路整備事業に係る用地(以下この部中「事業用地」という。)の取得、借受け、地上権設定等並びにこれらに伴う補償、契約及び登記手続
- 6 事業用地、物件等の調査
- 7 事業用地の取得等に伴う租税特別措置法等に基づく手続
- 8 事業用地の取得等に係る諸証明
- 9 道路法第70条の規定による損失の補償及びこれらの契約等
- 10 課主管事務事業に係る事業用地の収用手続
- 11 局主管事務事業に係る事業用地の収用手続及び調整
- 12 局主管事務事業に係る事業用地取得の調整及び進行管理
- 13 新交通システム金沢シーサイドラインの建設に関する調査、設計等

- 1 横浜環状道路等高速道路の都市計画決定に係る原案の作成
- 2 横浜環状道路等高速道路の建設に関連する事業
- 3 横浜環状道路等高速道路の建設に伴う関係機関・団体との連絡調整
- 4 横浜環状道路等高速道路の建設に関連する事業予定地の管理
- 5 その他高速道路

- 14 道路整備事業にともなう普通財産の貸付け及び処分(他の局、部、課の主管に属するものを除く。)
- 15 部内他の課の主管に属しないこと

〔区役所土木事務所職員は、環境創造局・道路局を兼務〕



平成 2 3 年度

事業概要

道路局

目 次

ページ

道路局事業について	1
主な完成予定施設	3
道路局予算総括表	4
I 道路整備	
1 高速道路の整備	5
2 幹線道路等の整備	7
3 地区幹線道路等の整備	9
II 道路維持管理	
4 道路の維持・管理	11
5 橋りょう等の維持・補修	13
III 地域交通対策	
6 地域交通対策	15
IV 交通安全対策	
7 交通安全対策	17
8 放置自転車対策	18
9 自動車駐車場事業	18
V 河川整備	
10 河川等の整備	19
VI 河川維持管理	
11 河川等の維持・管理	21
VII その他	
12 その他事業	23

平成23年度道路局事業について

道路分野では**道路整備、道路維持管理、地域交通対策、交通安全対策**の4つの柱を軸として、河川分野では**河川整備、河川維持管理**の2つの柱を軸として、限られた財源の中でより効果が発現されるよう選択と集中を図りました。

I 道路整備

市民生活と経済活動を支えるとともに、環境負荷の軽減にも寄与する、効率的で効果的な道路ネットワーク等を実現するため、次の3つの道路整備を進めます。

○高速道路の整備

横浜環状道路は、関連街路を含め、南線・北線の整備を進めます。北西線は、都市計画決定後、事業化のために必要な調査・調整を行い、早期の事業化を目指します。また、横浜湘南道路の整備を進めます。

○幹線道路等の整備

環状3号線など、3環状10放射道路を中心に都市計画道路の整備を進めるとともに、国道1号（不動坂交差点）の改良など、国道及び主要地方道等の整備を進めます。

○地区幹線道路等の整備

「最寄り駅まで15分の交通体系」を実現する施策の一つとして、県道原宿六ツ浦の山手学院入口交差点の改良による渋滞解消や、駅前広場、駅周辺道路等公共交通機関の利便性向上につながる路線などの整備を進めます。

II 道路維持管理

歩行者と車両の安全な交通を確保するため、道路を適切に維持管理します。

○道路の維持・管理

道路の計画的な修繕を行うとともに、点検をきめ細かく行い、舗装補修を迅速に行うなど、市民の皆様の要望に的確に対応します。

車道等の清掃やハマロード・サポーター事業、道路照明灯やエレベーター等の保守・管理、街路樹や植樹帯の維持管理を行います。

○橋りょう等の維持・補修

橋りょうを計画的かつ効率的に維持管理する「アセットマネジメント」の考え方にに基づき、橋りょうの定期点検や維持補修等を行うとともに、架替え等を行います。

地震に強い都市に向け、橋りょうの地震対策、トンネル補修を行います。

Ⅲ 地域交通対策

誰もが安心して安全に利用できる交通体系の実現を推進します。

- 横浜市生活交通バス路線の維持支援
- 地域交通サポート事業の推進
- まちのバリアフリー化の推進 など

Ⅳ 交通安全対策

歩行者の安全と円滑な道路交通の確保に取り組みます。

○交通安全対策

歩道や道路照明灯等の交通安全施設を整備・補修するとともに、交差点改良や通学路等へのあんしんカラーベルトの整備を進めます。また、電線共同溝の整備や踏切改良も進めます。

さらに、交通安全運動や交通安全教育を行います。

○放置自転車対策

駅周辺の歩行者の通行、安全確保のため、自転車等放置防止対策を進めるとともに、自転車駐車場の管理運営や整備を行います。

○自動車駐車場事業

安全で円滑な道路交通の確保のため、路上駐車対策として、6箇所の市営地下駐車場の管理運営を行います。

Ⅴ 河川整備

台風や集中豪雨から市民の生命や財産等を守るため、河川整備を進めます。

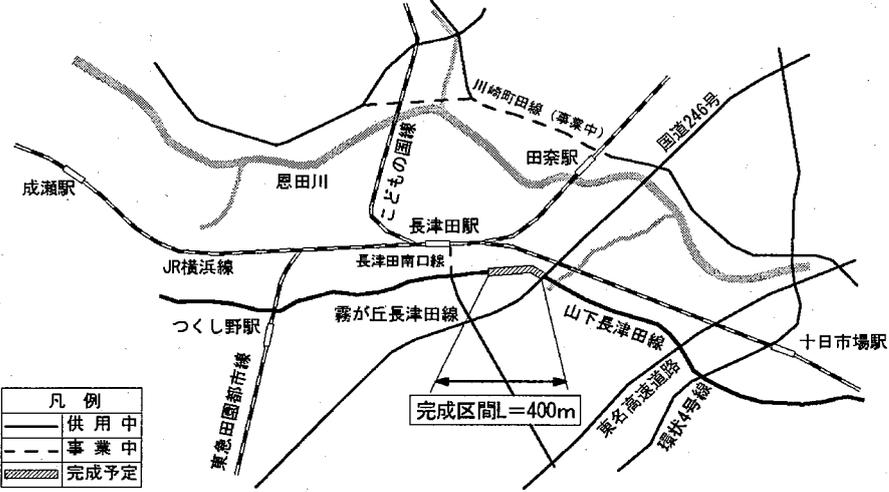
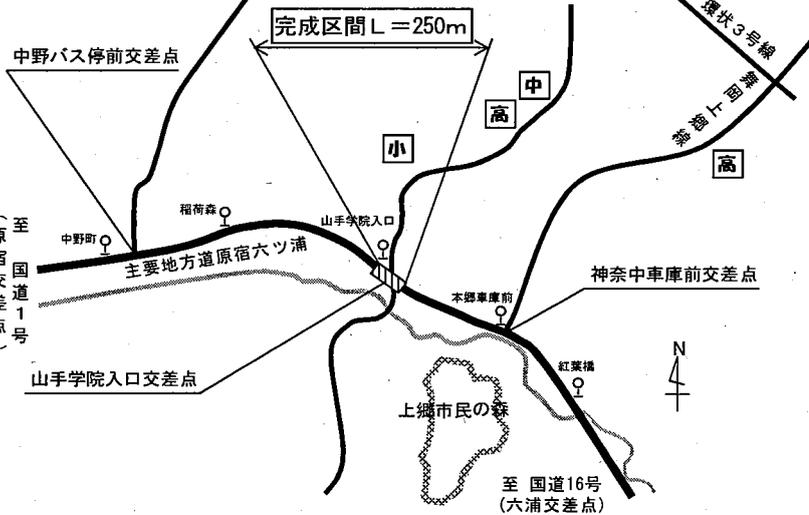
- 護岸改修や河川遊水地の整備など、河川の改修
- 学校の校庭を活用した流域貯留施設の整備
- 市民の憩いの場となるプロムナードなど、河川環境の整備 など

Ⅵ 河川維持管理

安全で良好な水辺を保つため、河川及び水路を適切に維持管理します。

- 河川・治水施設等のしゅんせつなどの維持管理
- 水路改廃に伴う境界確定等の管理や、水辺愛護会による美化活動の推進
- 水防災情報の提供や、水防資機材の備蓄 など

平成23年度 主な完成予定施設

	施設名	説明
1	山下長津田線 (長津田地区)	<p>緑区長津田六丁目の国道246号下長津田交差点から長津田駅南口入口交差点付近までの延長約400mの区間が完成し、長津田駅南口周辺の交通利便性と自転車・歩行者の安全性が向上します。</p>  <p>凡例 〰 供用中 - - - 事業中 ▨ 完成予定</p>
2	主要地方道原宿六ツ浦 (山手学院入口交差点)	<p>渋滞が生じていた山手学院入口交差点（栄区上郷町）の改良（変則なくいちがいの解消と右折レーンの設置）が完了し、国道1号原宿交差点と国道16号六浦交差点方向への円滑な車両通行が図られます。</p> 
3	花見橋	<p>老朽橋架替事業として実施していた、大岡川に架かる花見橋（南区弘明寺町～大岡二丁目）の架替えが完了します。 (橋長19.9m、幅員7.0m)</p>
4	やもと 谷本人道橋	<p>経年劣化対策として実施していた、鶴見川に架かる谷本人道橋（青葉区下谷本町～市ケ尾町）の架替えが完了します。 (橋長45.6m、幅員4.0m)</p>
5	いずみさんや 和泉三家橋	<p>河川改修事業にあわせて実施していた、和泉川に架かる和泉三家橋（泉区和泉町）の架替えが完了します。(橋長15.8m、幅員10.5m)</p>
6	中和田小学校など 2箇所の雨水貯留施設	<p>中和田小学校（泉区和泉町、和泉川流域）と平戸台小学校（戸塚区平戸町、平戸永谷川流域）の2箇所で、流域貯留施設（※）が完成します。 ※河川への雨水の流出を抑制する施設</p>

平成23年度 道路局予算 総括表

<一般会計>

(単位：千円)

科 目	23年度予算	22年度予算	差引増△減	増△減率
歳 出	68,445,936	70,450,566	△ 2,004,630	△ 2.8%
11款 道路費	66,208,288	68,146,854	△ 1,938,566	△ 2.8%
1項 道路維持管理費	24,884,258	24,910,318	△ 26,060	△ 0.1%
2項 道路整備費	36,217,117	37,851,836	△ 1,634,719	△ 4.3%
3項 河川費	5,106,913	5,384,700	△ 277,787	△ 5.2%
16款 諸支出金	2,237,648	2,303,712	△ 66,064	△ 2.9%

財源内訳

1 国庫支出金	11,860,697	千円
2 県支出金	1,473,470	千円
3 使用料及び手数料	7,030,081	千円
4 諸収入等	1,230,008	千円
5 市債	19,789,000	千円
6 一般財源	27,062,680	千円
合 計	68,445,936	千円

<自動車駐車場事業費会計>

(単位：千円)

科 目	23年度予算	22年度予算	差引増△減	増△減率
歳 出	1,240,344	1,272,908	△ 32,564	△ 2.6%
1款 自動車駐車場事業費	1,240,344	1,272,908	△ 32,564	△ 2.6%
1項 運営費	386,763	418,604	△ 31,841	△ 7.6%
2項 公債費	852,581	853,304	△ 723	△ 0.1%
3項 予備費	1,000	1,000	—	—

財源内訳

1 国庫支出金	12,100	千円
2 使用料及び手数料	372,562	千円
3 諸収入等	3,101	千円
4 一般会計繰入金	852,581	千円
合 計	1,240,344	千円

I 道路整備

1 高速道路の整備		
		千円
23年度		11,700,927
22年度		8,021,212
差引増△減		3,679,715
23年度 の 財源	国費	2,960,468
	県費	174,034
	使用料	0
	諸収入等	550
	市債	8,372,612
	一般財源	193,263

市民生活の利便性の向上、経済活動の活性化に向け、高速道路ネットワーク整備を積極的に進めるとともに、高速道路に関連する道路の整備等を進めます。

横浜環状道路の南線（横浜横須賀道路～国道1号）及び北線（第三京浜～横羽線）については、関連街路を含め、引き続き整備を進めます。また、横浜湘南道路の整備を引き続き進めます。

北西線（東名高速～第三京浜）については、都市計画決定後、事業化のために必要な調査・調整を行い、早期の事業化を目指します。

- | | |
|--|-----------------------------|
| 1 横浜環状道路等の調査 | 125,436 千円
(177,245) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 南線及び北線関連街路の予備設計 ・ 北西線の事業化基礎調査 等 | |
| 2 首都高速道路の整備に対する出資金 | 4,249,500 千円
(2,400,000) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜環状北線の整備等 | |
| 3 国直轄事業に対する負担金 | 1,933,334 千円
(2,200,000) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 横浜環状南線及び横浜湘南道路の整備 | |
| 4 横浜環状道路関連街路の整備 | 5,382,669 千円
(3,209,000) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 上郷公田線など南線関連街路 ・ 岸谷生麦線や馬場出入口など北線関連街路 | |
| 5 道路予定地等の管理 | 9,988 千円
(34,967) |

※（ ）内の数字は、平成22年度予算額です。

I 道路整備

2	幹線道路等の整備	
23年度	千円	16,199,963
22年度		17,396,292
差引増△減		△ 1,196,329
23 年 度 の 財 源	国費	4,410,010
	県費	113,561
	使用料	0
	諸収入等	182,500
	市債	6,433,895
	一般財源	5,059,997

市域の一体性を高めながら都市機能の強化を図るため、本市の骨格を形成する3環状10放射道路など都市計画道路網を整備するとともに、本市の国道及び主要地方道等の整備を進めます。

また、都市計画道路網の見直しについて、市民の皆様のご意見を踏まえつつ、都市計画変更に向けた手続きを引き続き進めます。

1 都市計画道路の整備 5,816,239 千円 (7,689,685)

- ・環状3号線（戸塚区戸塚町～汲沢町）
- ・環状4号線（栄区公田町～中野町）
- ・東京丸子横浜線（港北区日吉三丁目～四丁目）
- ・下永谷大船線（戸塚区舞岡町～上倉田町）
- ・鴨居上飯田線（旭区本宿町～さちが丘）
- ・丸子中山茅ヶ崎線（都筑区東山田町～勝田町）

ほか

2 国道や主要地方道の改良等 725,058 千円 (886,607)

- ・国道1号（不動坂交差点、戸塚区柏尾町～上矢部町）
- ・国道1号（保土ヶ谷橋交差点、
保土ヶ谷区岩井町～保土ヶ谷町二丁目）
- ・県道川崎町田（青葉区田奈町～恩田町） ほか

3 国直轄事業に対する負担金 2,918,666 千円 (1,800,000)

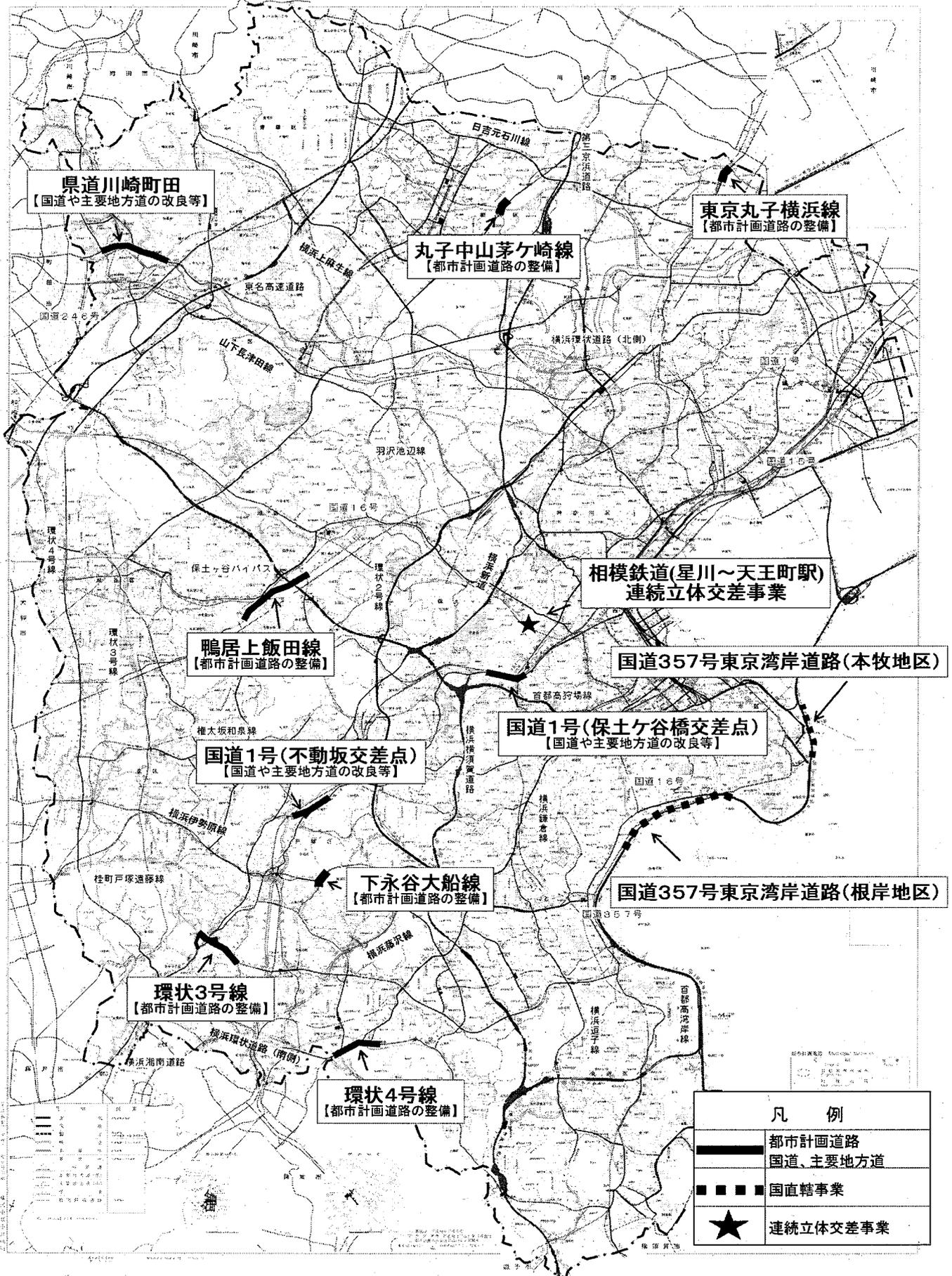
- ・国道357号東京湾岸道路（根岸地区・本牧地区）ほか

4 連続立体交差事業の推進 2,740,000 千円 (3,020,000)

- ・相模鉄道（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業

5 財団法人横浜市道路建設事業団への助成 4,000,000 千円 (4,000,000)

主な整備箇所(幹線道路等)



I 道路整備

3	地区幹線道路等の整備	
		千円
23年度	2,343,968	
22年度	4,539,172	
差引増△減	△ 2,195,204	
23 年 度 の 財 源	国費	615,212
	使用料	0
	諸収入等	0
	市債	1,502,000
	一般財源	226,756

市民生活に密着した地域の道路を整備します。

1 駅まで15分道路整備事業 2,208,342 千円 (4,211,849)

「最寄り駅まで15分の交通体系」を実現する施策の1つとして、バス路線又は将来バス路線となるような地区幹線道路等のうち、短期間で完成し、大きな事業効果が得られる箇所について重点的に整備を進めます。

(合計53箇所、完成予定4箇所、新規1箇所)

(下線部分は23年度完成予定)

(1) 交差点改良等によりボトルネック解消につながる路線

- ・ 東京丸子横浜（大倉山交差点） 【新規】
- ・ 阿久和鎌倉（萩丸交差点） など12路線

(2) 幹線道路とあわせて整備することにより、効果が一層高まる路線

- ・ 上白根第99号線（上白根一丁目地区(その1)）
- ・ 蒔田第480号線（岡村七丁目地区）
- ・ 佐江戸北山田線（山王前地区）
- ・ 中屋敷二丁目地内道路 など28路線

(3) 駅前広場、駅周辺道路など公共交通機関の利便性向上につながる路線

- ・ 山下長津田線（長津田地区） など7路線

(4) 交通渋滞の解消につながるバスベイ等を整備する路線

- ・ 片倉六角橋線（神大寺地区） など2路線

(5) 郊外部の渋滞の激しい交差点を改善するスムーズ交差点プラン

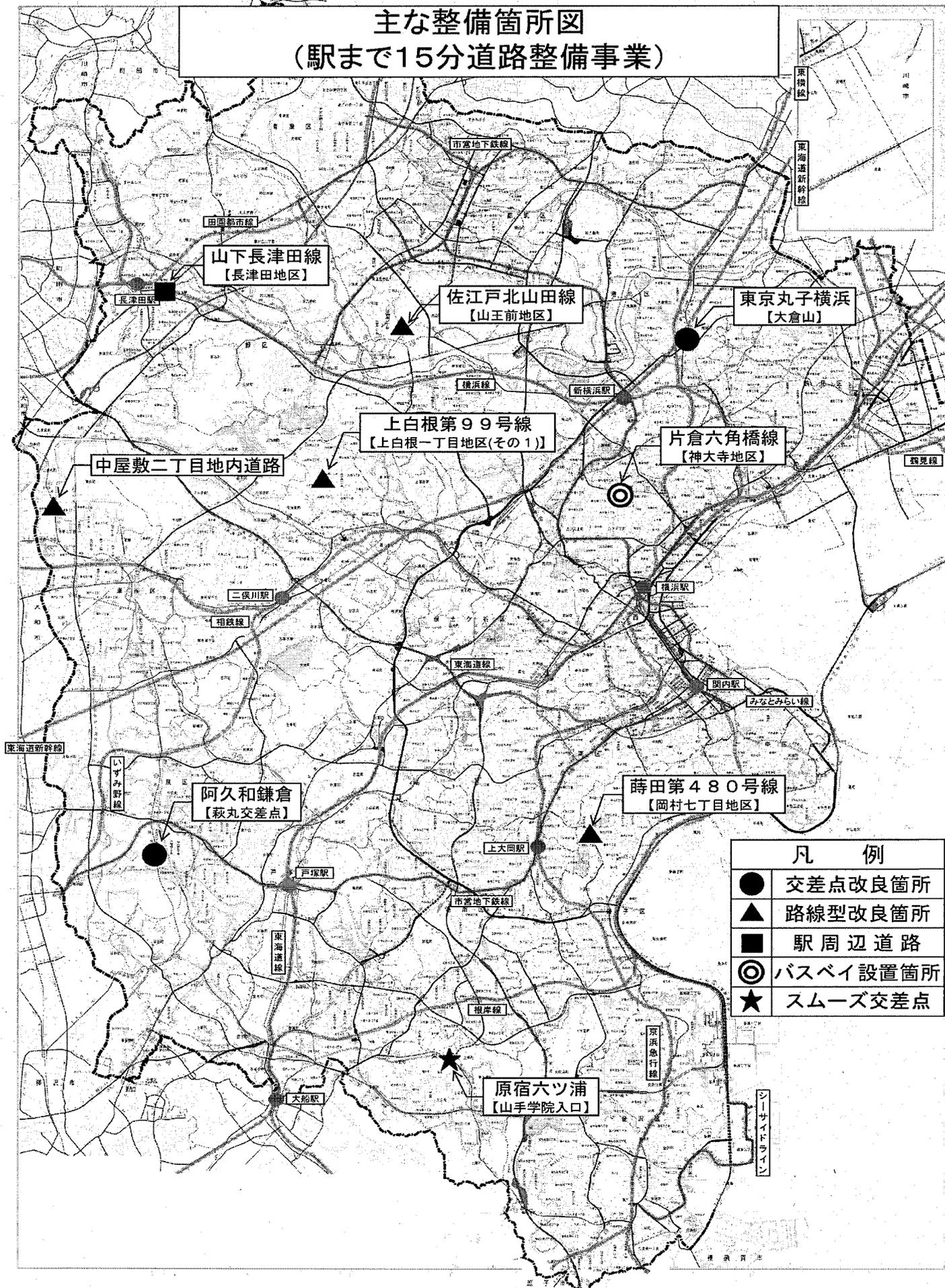
- ・ 原宿六ツ浦（山手学院入口） など4路線

2 一般改良事業 135,626 千円 (327,323)

道路の部分的な拡幅や交差点の改良等を行います。

(合計11箇所、完成予定2箇所、新規1箇所)

主な整備箇所図
(駅まで15分道路整備事業)



凡 例	
●	交差点改良箇所
▲	路線型改良箇所
■	駅周辺道路
◎	バスベイ設置箇所
★	スムーズ交差点

Ⅱ 道路維持管理

4	道路の維持・管理	
23年度		千円 13,329,776
22年度		13,299,481
差引増△減		30,295
23 年 度 の 財 源	国費	158,600
	県費	25,200
	使用料	4,807,499
	諸収入等	330,625
	市債	33,500
	一般財源	7,974,352

歩行者と車両の安全な交通を確保するため、道路の適切な維持管理を引き続き行います。

なお、「道路修繕」については、22年度と同額の予算を確保しました。

1 道路修繕 9,485,718 千円 (9,485,718)

舗装のわだち掘れ等、損傷が著しくなっている道路の計画的な修繕工事のほか、生活環境の向上につながる住宅地内の舗装補修や道路側溝の暗きょ化、駅周辺の安全性と利便性を確保する歩道や車道の舗装補修を実施します。

また、引き続き洪水・浸水による道路冠水など、水害に対する予防保全機能の強化に取り組みます。

2 すず風舗装の整備 10,000 千円 (0)

ヒートアイランド対策の一つとして、舗装表面の温度上昇を抑制するすず風舗装を実施します。

- ・市道箕輪第34号線（日吉駅普通部通り、
港北区日吉本町一丁目）（保水性舗装）

3 低騒音舗装の整備 70,000 千円 (255,500)

沿道環境の改善のため、低騒音舗装を実施します。

- ・国道1号（保土ヶ谷区西久保町） ほか

4 道路清掃・施設管理 2,798,560 千円
(2,650,914)

車道等の清掃及び道路照明灯やエレベーター等の保守・管理を行います。

- ・道路、駅前広場等の清掃
- ・道路照明灯管理
- ・エレベーター・エスカレーター管理
- ・ハマロード・サポーター事業
ハマロード・サポーター 285団体
- ・道路台帳の更新や認定路線の管理等 ほか

5 道路清掃（緊急経済対策・緊急雇用） 25,200 千円
(25,557)

- ・環状2号線歩道等特別清掃事業

6 街路樹・植樹帯の管理 938,733 千円
(881,792)

(1) 都市に潤いと憩いを与える街路樹及び植樹帯の植栽を良好に生育させるため、剪定等の維持管理を行います。

- ・街路樹管理 134,000本
- ・植樹帯管理 126.6ha

※ これ以外に、みどり保全創造事業費会計の歳出予算を活用し、街路樹剪定の充実を図ります。

(2) 街路樹の根上がりにより、歩行者の安全な交通の妨げが生じている歩道を樹木の良好な生育を確保しつつ、改善する工事を実施します。

- ・市道大場町第429号線（青葉区荏田西1丁目）ほか

7 高架下等の有効活用 1,565 千円
(0)

まちづくりや賑わい創出等の観点から、民間のアイデアと活力を取り入れ、高架下等の有効活用を図ります。

Ⅱ 道路維持管理

5	橋りょう等の維持・補修	
	23年度	千円 3,728,999
	22年度	3,050,442
	差引増△減	678,557
23 年 度 の 財 源	国費	1,110,290
	諸収入等	328,000
	市債	1,111,129
	一般財源	1,179,580

橋りょうの維持・補修及び長寿命化の推進等を行うほか、架替えを行います。

また、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、地震に強い都市づくりを進めるため、橋りょうの地震対策及びトンネルの補修を引き続き行います。

1 橋りょうの長寿命化推進 660,658 千円 (679,209)

橋りょうを計画的かつ効率的に維持管理する「アセットマネジメント」の考え方にに基づき、橋りょうの定期点検や計画的な維持補修・塗装等を行います。

- ・ 塗装塗替 17橋
- ・ 高欄修繕等 44橋 ほか



塗装の塗替（新川向橋・港北区～都筑区）
※写真左の線路上部は、現在工事中

2 橋りょうの改良 (下線部分は23年度完成予定)

2,857,051 千円
(2,058,289)

(1) 老朽橋の架替えを行います。

- ・ 花見橋 (南区弘明寺町~大岡二丁目)
- ・ 谷本人道橋 (青葉区下谷本町~市ヶ尾町)
- ・ 江ヶ崎こ線橋 (鶴見区江ヶ崎町)
- ・ 霞橋 (中区新山下一丁目) ほか

(2) コンクリート片剥離落下等の事故を未然に防ぐため、こ線橋等の補修を計画的に行います。

- ・ 地蔵人道橋 (神奈川区大口通~神之木町) ほか

(3) 老朽橋の応急補修を実施します。

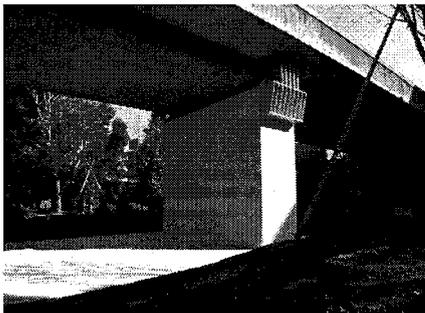
- ・ 鶴見大橋 (鶴見区生麦二丁目~末広町)

3 橋りょうの地震対策

88,624 千円
(203,704)

緊急輸送路にある橋や、高速道路・鉄道を跨ぐ橋などの重要橋りょうのうち、地震対策が必要な366橋について、橋脚補強や落橋防止装置の設置などの対策を実施しています。平成22年度末までに341橋(93%)の対策が完了する見込みであり、引き続き、残る25橋を対象に地震対策を計画的に行います。

- ・ 鶴蒔橋 (青葉区市ヶ尾町) ほか



橋脚を補強し、変位制限装置を施した橋 (将門橋・都筑区)



PC鋼棒で連結し、落橋防止を施した橋 (清水ヶ丘公園東橋・南区)

4 トンネルの補修

122,666 千円
(109,240)

トンネルのコンクリート片剥離落下を防ぐため、本体の補修等を行います。

- ・ トンネル補修
 汐見台隧道 (磯子区汐見台) ほか
- ・ トンネル点検調査等

Ⅲ 地域交通対策

6	地域交通対策	
	千円	
23年度		735,413
22年度		3,379,489
差引増△減		△ 2,644,076
23 年 度 の 財 源	国費	45,650
	使用料	0
	諸収入等	0
	市債	13,050
	一般財源	676,713

誰もが安心・安全に利用できる交通体系を実現するため、バス等の交通施策の推進、バリアフリー新法に基づく基本構想の検討・策定及びバリアフリー歩行空間の整備等を進めます。

1 横浜市生活交通バス路線の維持支援 609,397 千円 (622,746)

バス路線の廃止による交通不便地域の発生等を回避し、市民の日常生活の利便性を確保するため、必要と認められるバス路線に対し補助金を交付し、路線を維持します。

2 地域交通サポート事業 15,000 千円 (15,000)

地域にふさわしい交通サービスの実現に向けた地域主体の取組に対して、活動経費の助成や専門的な調査を実施するコンサルタントの派遣を行います。



本格運行中の乗合バス
(戸塚区小雀地区～大船駅)

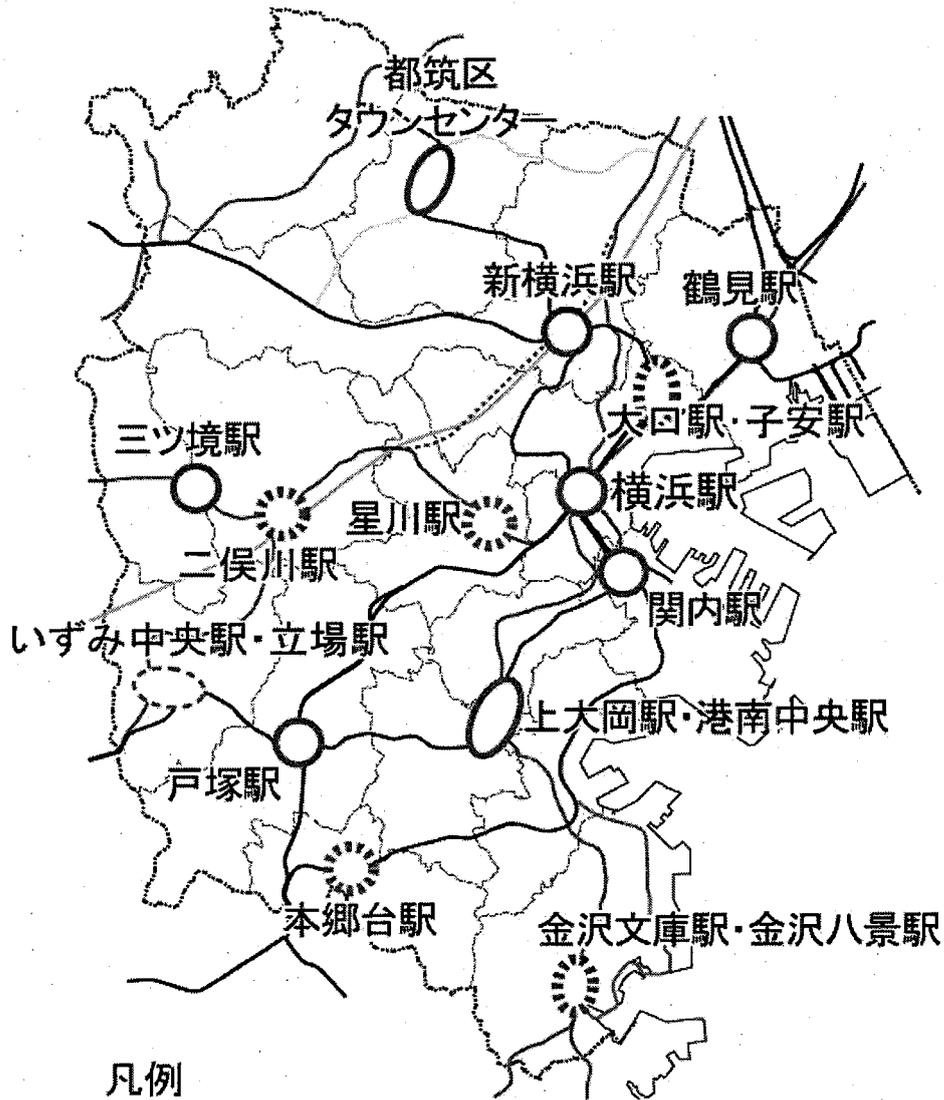
3 まちのバリアフリー化の推進 90,916 千円 (213,243)

駅周辺のバリアフリー化をより推進していくため、バリアフリー新法に基づく基本構想の検討・策定を引き続き行います。

※区局連携事業（金沢区）
金沢八景駅・金沢文庫駅周辺地区バリアフリー基本構想策定業務を含む

また、バリアフリー歩行空間を整備します。
・上大岡駅・港南中央駅周辺地区(港南区) ほか

バリアフリー基本構想の策定状況



凡例

	バリアフリー基本構想策定済み(8地区)
	バリアフリー基本構想策定中(5地区)
	バリアフリー基本構想着手予定(1地区)

4 鉄道駅総合改善事業（羽田空港アクセス改善事業）

20,100 千円
(28,500)

羽田空港へのアクセスを改善し、市民の利便性向上を図ることを目的に、京急蒲田駅の鉄道駅総合改善事業により、横浜方面からの直通線を整備します。

IV 交通安全対策

7	交通安全対策	
23年度		千円 3,531,693
22年度		3,166,523
差引増△減		365,170
23 年 度 の 財 源	国費	1,278,400
	使用料	43,592
	諸収入等	260,010
	市債	836,714
	一般財源	1,112,977

歩行者の安全と円滑な道路交通を確保するため、交通安全施設や安全で快適に移動できる歩行空間を整備します。

また、交通事故防止に向け、交通安全運動や交通安全教育を実施します。

1 交通安全施設の整備等 2,429,266 千円 (2,492,771)

- (1) 歩道、防護柵、案内標識、道路照明灯、安全灯、視覚障害者誘導用ブロック等の施設を整備します。
- (2) 交通事故の多発している地点について、交差点改良等を行うとともに、小学校の通学路等において、あんしんカラーベルト事業を進めます。
- (3) 災害時の安全性の確保や機能的な道路空間と都市景観の向上のため、電線共同溝の整備を進めます。

・環状2号線（鶴見区梶山二丁目～上末吉五丁目）

ほか

- (4) 歩行者の安全性や利便性の向上を図るため、踏切の拡幅やカラー舗装等を実施します。

- (5) 自転車道を整備します。

・新羽荏田線（都筑区荏田東） ほか

2 交通安全施設の補修 1,055,363 千円 (616,580)

- (1) 防護柵、案内標識、道路照明灯、歩道橋等の施設の補修を行います。
- (2) 歩道橋について、歩道橋長期保全計画に基づき、長寿命化推進事業を進めます。

3 交通安全運動の推進等 47,064 千円 (57,172)

- (1) 交通安全運動や広報・啓発活動について、自転車マナーのリーフレットを作成、配付するなど、年間を通じて実施します。
- (2) 幼児・児童や高齢者に対して、年齢や世代に応じた交通安全教育を行います。

・幼稚園・保育園160園、小学校150校等で開催

IV 交通安全対策

8	放置自転車対策		<p>駅周辺の歩行者の通行、安全確保のため、引き続き自転車等放置防止対策を進めるとともに、自転車駐車場の管理運営及び整備を行います。</p>
	千円		
	23年度	2,528,230	
	22年度	2,739,526	
	差引増△減	△ 211,296	
23年度の財源	国費	64,900	
	県費	180,008	
	使用料	2,054,041	
	諸収入等	92,181	
	市債	125,100	
	一般財源	12,000	
			<p>1 自転車等放置防止 1,916,222 千円 (2,128,004)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車等放置防止対策 ・ 市営自転車駐車場の運営 ・ 民営施設の整備補助 <p>2 自転車等放置防止（緊急経済対策・緊急雇用） 180,008 千円 (157,154)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車等放置防止監視員の配置等 <p>3 自転車駐車場の整備・補修 432,000 千円 (454,368)</p> <p>市営自転車駐車場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青葉台駅（青葉区青葉台一丁目） ・ 鶴見駅西口（鶴見区豊岡町） <p style="text-align: right;">など5箇所が完成 H23供用開始予定 1,555台</p>
9	自動車駐車場事業 (自動車駐車場事業費会計)		
	千円		
	23年度	1,240,344	
	22年度	1,272,908	
	差引増△減	△ 32,564	
23年度の財源	国費	12,100	
	使用料	372,562	
	諸収入等	3,101	
	一般会計		
	繰入金	852,581	
			<p>安全で円滑な道路交通の確保のため、路上駐車対策として、6箇所の市営地下駐車場の管理運営を行います。</p> <p>1 自動車駐車場管理運営 387,763 千円 (419,604)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福富町西公園地下駐車場 184 台 ・ ポートサイド地下駐車場 200 台 ・ 馬車道地下駐車場 225 台 ・ 山下町地下駐車場 219 台 ・ 日本大通り地下駐車場 200 台 ・ 伊勢佐木長者町地下駐車場 200 台 <p>2 公債費 852,581 千円 (853,304)</p>

V 河川整備

10	河川等の整備	
		千円
	23年度	4,180,500
	22年度	4,400,237
	差引増△減	△ 219,737
23 年 度 の 財 源	国費	1,211,667
	県費	980,667
	諸収入等	0
	市債	1,361,000
	一般財源	627,166

(下線部分は23年度完成予定)

台風や集中豪雨から市民の生命・財産や都市機能を守るため、河川整備を進めます。

1 河川の改修 3,903,500 千円 (4,092,337)

時間降雨量約50mmの雨に対応できるように、護岸の改修、河川遊水地の整備を推進します。

(1) 都市基盤河川改修事業

- ・和泉川 和泉三家橋の新設(泉区和泉町)等
- ・舞岡川 舞岡川遊水地の整備(戸塚区舞岡町)等
- ・今井川 J R岩間川橋りょう工事
(保土ヶ谷区岩井町)等
- ・帷子川 用地取得(旭区上川井町)等
- ・中堀川 用地取得(旭区白根二丁目)等
- ・阿久和川 河床掘削(瀬谷区阿久和南三丁目)
- ・いたち川 神戸橋の架替え(栄区上郷町)等
- ・名瀬川 用地取得(戸塚区名瀬町)等
- ・その他 平戸永谷川(戸塚区名瀬町)や
宇田川(戸塚区深谷町)の河床整備等

(2) 準用河川改修事業

- ・奈良川 (仮称) 新奈良橋の新設(青葉区奈良町)等
- ・日野川 護岸整備(港南区日野七丁目)等
- ・準用舞岡川 護岸整備(戸塚区舞岡町)等

2 流域貯留施設の整備 171,000 千円 (246,000)

流域全体での総合的な浸水対策を進めるため、河川への雨水流出を抑制する貯留施設を整備します。

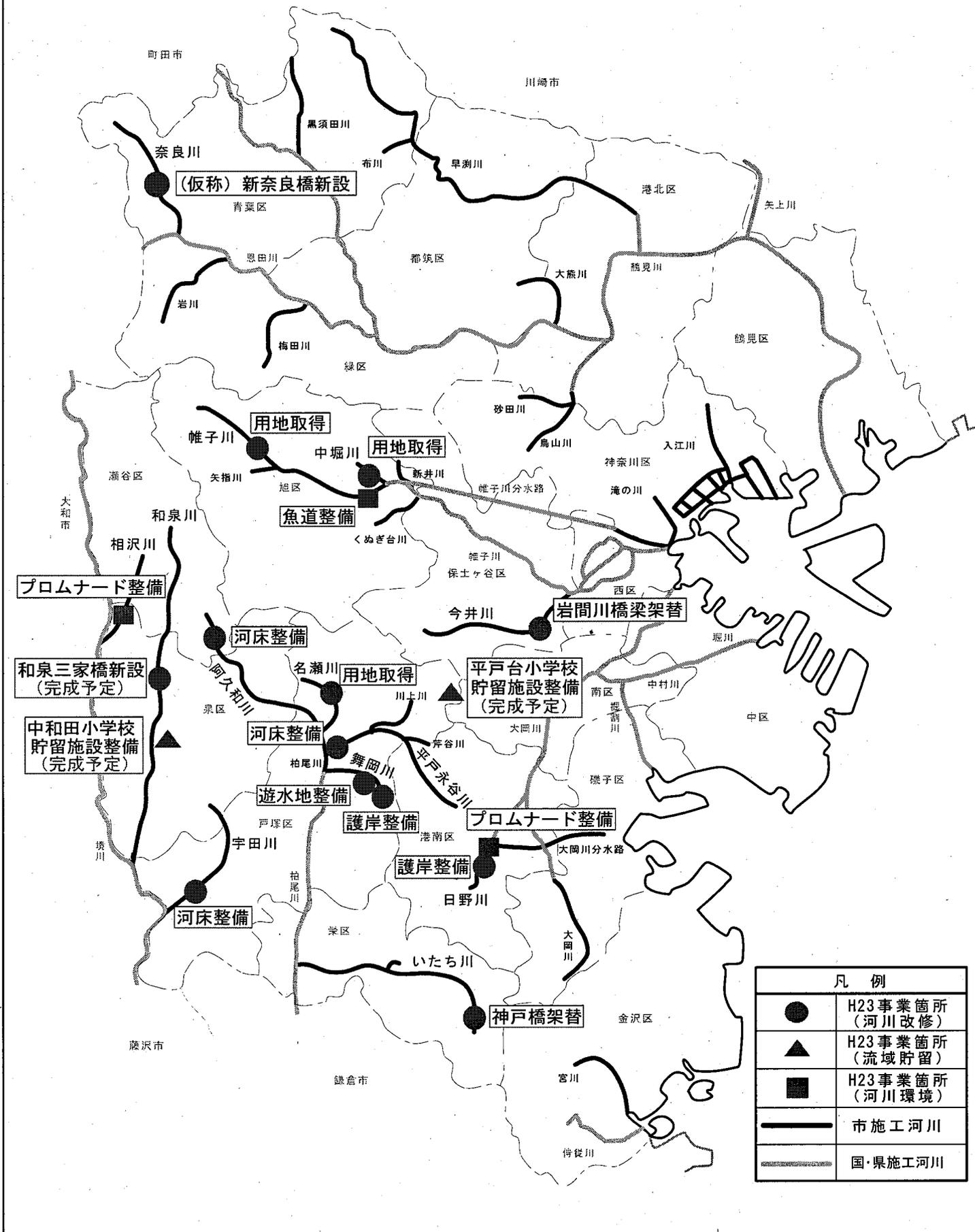
- ・中和田小学校 貯留施設の整備(泉区和泉町)
- ・平戸台小学校 貯留施設の整備(戸塚区平戸町)

3 河川環境の整備 106,000 千円 (61,900)

快適な水環境の保全と創造を目指し、市民の憩いと潤いの場となるプロムナードや生物生息環境に配慮した魚道等を整備します。

- ・日野川 プロムナード整備(港南区日野七丁目)
- ・相沢川 プロムナード整備(瀬谷区下瀬谷一丁目)
- ・その他 帷子川(旭区鶴ヶ峰二丁目)の魚道整備等

主な整備箇所図(河川整備)



Ⅵ 河川維持管理

11	河川等の維持・管理	
		千円
	23年度	926,413
	22年度	984,463
	差引増△減	△ 58,050
23 年 度 の 財 源	国費	5,500
	使用料	124,949
	諸収入等	50
	市債	0
	一般財源	795,914

河川及び水路の維持管理を行うほか、水辺愛護会活動を積極的に支援し、身近な水辺を良好に保つとともに河川愛護意識の醸成を図ります。

また、水防災情報システムによる水位情報の提供など、浸水被害を軽減するための取組を進めます。

1 河川・水路等の維持管理事業 830,155 千円 (861,310)

河川や雨水調整池等の治水施設の流水・貯留機能を確保するため、効率的にしゅんせつや除草等を実施します。

また、老朽化した護岸や水路・ポンプ排水型遊水地等の管理施設の補修等により、安全で安心できる施設管理を行います。

あわせて、一層の効率的な維持管理に向けて、計画的修繕により、施設の長寿命化に取り組めます。

[横浜市が維持・管理する河川等]

- ・一級河川（権限委譲河川） 3河川 5,980m
- ・二級河川（権限委譲河川） 1河川 4,920m
- ・二級河川（都市基盤河川※） 11河川 43,205m
- ・準用河川 25河川 31,768m
- ・水路 約2,100km
- ・河川遊水地 8箇所

※ 二級河川のうち、都市基盤河川改修事業を実施する河川は、横浜市で維持・修繕を行っています。

[その他管理施設]

- ・雨水調整池 216箇所
- ・流域貯留浸透施設 81箇所

2 水政事業

24,545 千円
(21,443)

水質事故の処理、水路改廃に伴う境界確定などの管理を行います。

また、地域の水辺環境を良好に維持することを目的とした水辺愛護会活動への支援など、市民との協働による美化活動等を進め、河川愛護意識の醸成を図ります。

- ・水辺愛護会 92団体

3 水防事業

71,713 千円
(101,710)

河川・水路からの洪水等による浸水被害を軽減するため、水防災情報システムにより水位や画像等の情報をホームページや電子メールで配信するとともに、水防資機材の備蓄・整備を行います。

- ・親水拠点警報装置 18箇所
- ・水防災情報システム 27河川 59箇所
(国・県を含む)



親水拠点警報装置
(和泉川 東山の水辺、瀬谷区)

Ⅶ その他

12	そ の 他 事 業	
		千円
	23年度	9,240,054
	22年度	9,473,729
	差引増△減	△ 233,675
23 年 度 の 財 源	国費	0
	使用料	0
	諸収入等	36,092
	市債	0
	一般財源	9,203,962

1	私道対策事業	162,291 千円 (196,219)
	・ 私道整備助成【助成率9/10】、私道整備【全額市費】	95,000 千円 (100,000)
	・ 公道移管測量費助成	67,291 千円 (96,219)
2	職員人件費	7,122,919 千円 (7,208,798)
3	特別会計繰出金（自動車事業費会計繰出金除く）	1,812,736 千円 (1,958,445)
	・ 駐車場事業費会計繰出金	852,581 千円 (853,304)
	・ 公共事業用地費会計繰出金	960,155 千円 (1,105,141)
4	その他の事業	142,108 千円 (110,267)

総務管理費、技術監理費等



OPEN
YOKOHAMA

平成 23 年度 主な完成予定施設

道 路 局

目 次

	ページ
1 山下長津田線（長津田地区）	1
2 主要地方道原宿六ツ浦（山手学院入口交差点）	2
3 花見橋	3
4 やもと 谷本人道橋	4
5 いずみさんや 和泉三家橋	5
6 中和田小学校など2箇所 ^の 流域貯留施設	6

1 山下長津田線（長津田地区）

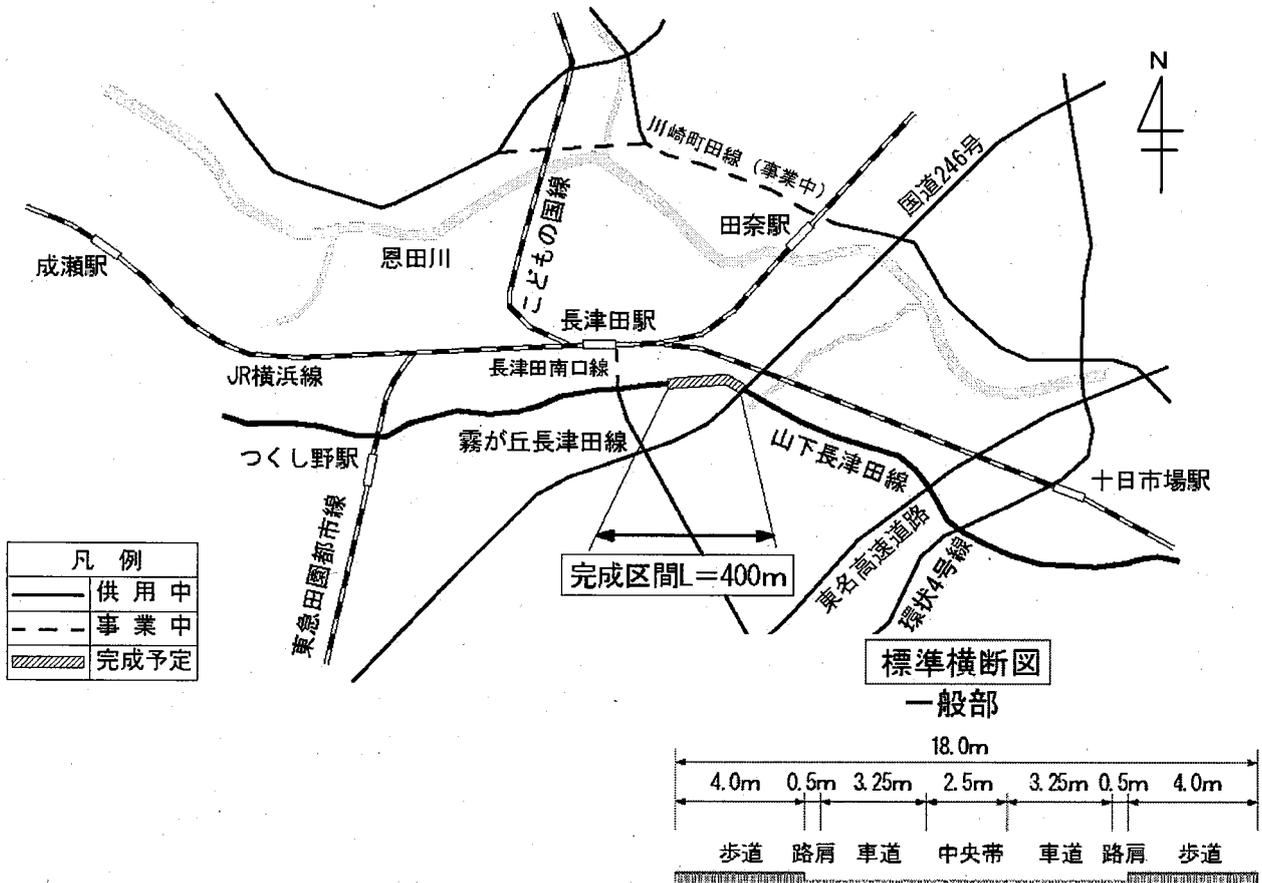
～長津田駅南口周辺の交通利便性と自転車・歩行者の安全性が向上します～

都市計画道路山下長津田線は、中区山下町から緑区长津田町（町田市界）に至る延長約20kmの幹線道路で、本市道路ネットワークの骨格となる3環状10放射道路に位置付けられています。

長津田地区は、平成23年度完了期間宣言路線として事業を進めており、緑区长津田六丁目の国道246号下長津田交差点から長津田駅南口入口交差点付近までの延長約400mの全区間が、両側4m歩道の2車線、18mの幅員で完成します。

この完成により、長津田駅南口周辺のバス交通などの交通利便性が改善され、自転車利用者や歩行者の安全性が向上します。

路線名	都市計画道路山下長津田線（長津田地区）
区間	緑区长津田六丁目から長津田五丁目
延長	約400m
幅員	18.0m（車道：10m（2車線）、歩道：4.0m×2）
事業期間	平成14年度～平成23年度
総事業費	約2,000百万円



3 花見橋

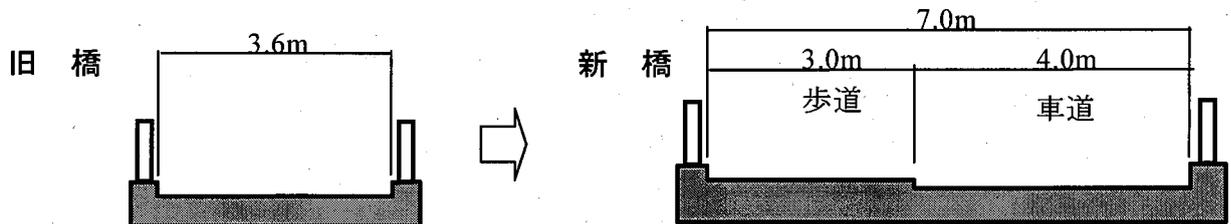
～架替えにより耐震性と歩行者の安全性が向上します～

花見橋は市道井土ヶ谷第 445 号線が大岡川を渡河する位置に架かる橋です。昭和 34 年に建設され、築後 51 年が経過していることから、橋桁や高欄に加え、橋を支えている橋台、橋脚にも著しい老朽化が見られました。

このため、平成 19 年度から架替えのための設計を始め、平成 23 年度に新しい橋が完成する予定です。

架替え後の橋は、道路橋の現行基準に適合したものとなり、地震への安全性が向上するとともに、歩行者が安全に通行できるための歩道が設置されます。

路線名 (橋梁名)	市道井土ヶ谷第 445 号線 (花見橋)	
場 所	南区弘明寺町から大岡二丁目まで	
河 川 名	二級河川 大岡川	
延 長	19.9m	※旧橋 17.0m
幅 員	7.0m (車道 4.0m 歩道 3.0m)	※旧橋 3.6m
橋 梁 形 式	単純鋼コンクリート合成床板橋	
事 業 期 間	平成 19 年度から平成 23 年度	
総 事 業 費	約 380 百万円	



花見橋完成予想イメージ



案内図



やもと 4 谷本人道橋

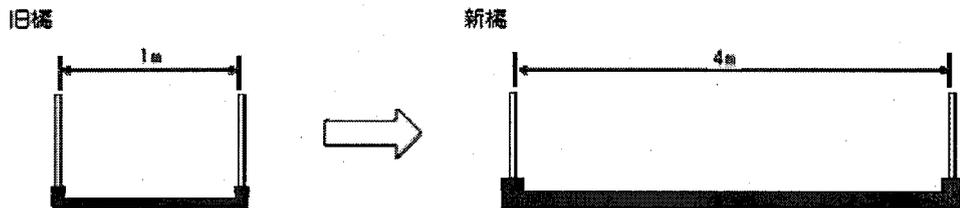
～利便性と安全性が向上します～

谷本人道橋は一級河川鶴見川に架かる青葉区下谷本町と市ヶ尾町を結ぶ全長 46mの橋です。

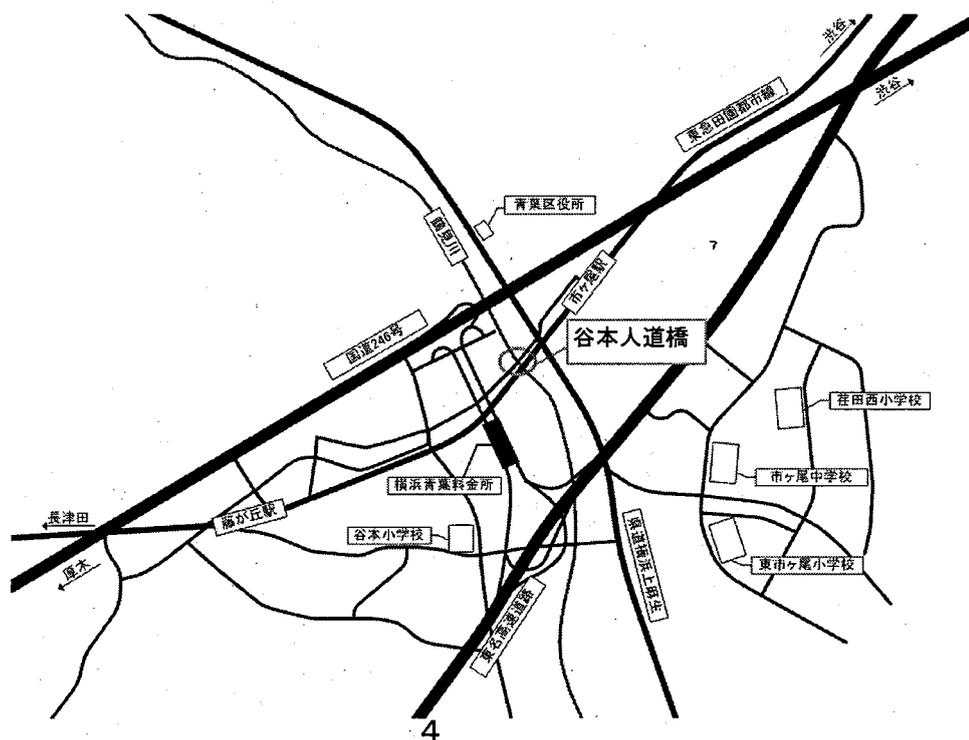
旧橋は昭和 41 年に完成し、水管橋の上部を人道橋として利用していましたが、幅員が 1 mと狭く、すれ違いができないことや、橋の耐震性が確保されていないことから、橋の架替事業に着手し、平成 23 年度に自転車歩行用の新しい橋が完成する予定です。

架替えにより、新橋は幅員が 4 mとなり現在の道路基準に適合した橋となるため、利用者の利便性や地震への安全性が確保されることで橋の機能が向上します。

橋名	谷本人道橋
場所	青葉区下谷本町から市ヶ尾町まで
河川名	一級河川 鶴見川
延長	45.6m
幅員	4.0m (自転車歩行者のみ)
橋梁形式	単純合成床版橋
事業期間	平成 19 年度から平成 23 年度
総事業費	約 300 百万円



案内図



5 いずみさんや 和泉三家橋

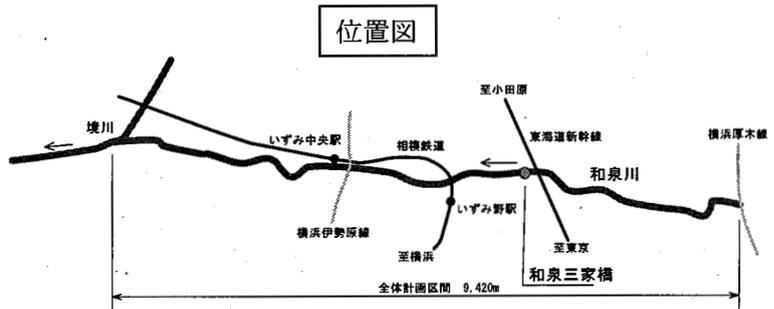
～ネック箇所（狭小河道）の解消による治水安全度の向上～

和泉川は、瀬谷区瀬谷町（瀬谷市民の森付近）を水源として、瀬谷区、泉区を南下し、戸塚区で二級河川境川に合流する全体延長11.5km、流域面積11.5km²の河川です。昭和46年度より河川改修を進めていますが、流域内の都市化に伴い、流出量が増大し、溢水氾濫による被害が度々発生しています。

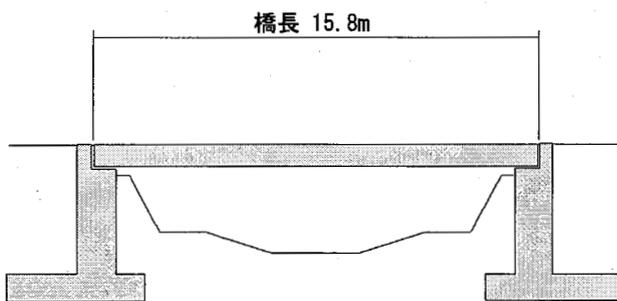
そのため抜本的な河川改修を図る為にも、新規開削河道を整備すると共に橋の新設を実施し浸水被害の軽減を図っています。

和泉三家橋については、平成20年度に着手し、平成23年度の迂回路の撤去等をもって完成、供用を開始する予定です。

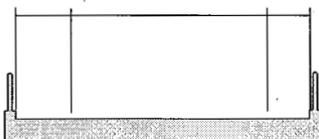
河川名 二級河川境川水系和泉川
場 所 泉区和泉町
新橋橋長 L=15.8m、幅員 10.5m
橋梁形式 プレテンション方式PC単純T桁
事業期間 平成20～平成23年度
総事業費 約220百万円



断面図 (Cross-section Diagram)



歩道 2.0m 車道 7.0m 歩道 1.5m



上部架設状況 (Upper Structure Construction Status)



6 中和田小学校など2箇所の流域貯留施設

～雨水をゆっくり流す治水対策～

台風や近年多発している局地的集中豪雨などの大雨時に河川へ雨水をゆっくり流すため、学校や公園等のオープンスペースを活用した貯留施設の整備や既存雨水調整池等を改良し貯留量を拡大するなど、抜本的な河道改修とあわせ流域全体での総合的な浸水対策に取り組んでいます。

平成23年度は、境川流域において2施設が完成する予定です。

【中和田小学校】

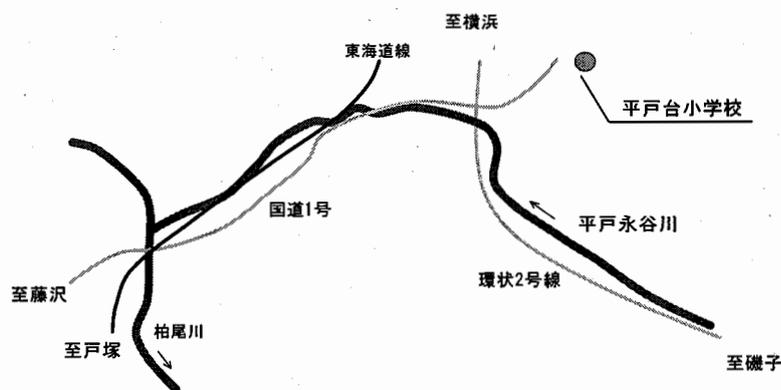
流域名 境川流域
 場所 泉区和泉町
 貯留量 約450m³
 貯留形式 地下式貯留
 事業期間 平成21～23年度
 総事業費 約72百万円

【位置図】

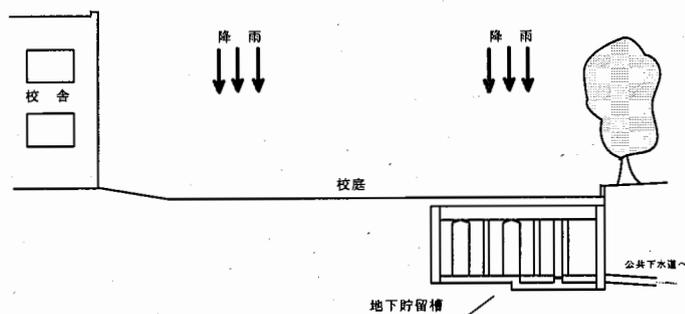


【平戸台小学校】

流域名 境川流域
 場所 戸塚区平戸町
 貯留量 約650m³
 貯留形式 地下式貯留
 事業期間 平成21～23年度
 総事業費 約95百万円



【イメージ図】



【地下貯留施設整備事例】

